

シラバス

科目名	Photoshop演習	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	田島 亮
対象学年	1年後期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	グラフィックデザインに必須のAdobe Photoshopの基本を習得します。		
到達目標	印刷物やWeb用の画像が正しく作成できるようにし、非破壊画像編集などの考え方を学びます。		
授業の方法	基本操作を学んでいく中で、段階に応じた課題をこなし、最新の機能などの紹介をしていきます。		
評価方法	出席状況15%、授業態度15%、課題70%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	写真を素材として使うことを前提としたスマホなどでの撮影。		
使用教材教具	ノートPC		
留意点			

授業計画	
1	◎Photoshop基本操作。スマホからPCへの写真の取り込み、スキャナの使用方法など、HDRについて
2	選択とマスク、レイヤーについて
3	課題1 フォトコラージュ
4	フォトマージ、レイヤーマスクについて
5	課題2 フォトマージ
6	画像形式、解像度について。線画の抽出、ペイントの基礎、色調補正など
7	イラストのペインティングについて、透明ピクセルのロック、クリッピングマスク
8	コピースタンプツール、パッチツールなど。最新機能の紹介、実演
9	課題3 空の置き換え
10	調整レイヤー、フィルタワーク、スタイル
11	課題4 ロゴなどの作成
12	コンテンツに応じた塗りつぶし、画像の拡大縮小、チャンネルの使い方
13	課題5 コンテンツに応じる
14	Web用画像の解説、効率の良い作成方法、ImageOptimの設定
15	課題2 Webバナー制作
16	

シラバス

科目名	コースミーティングB	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	寺崎
対象学年	1年後期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	LHR的な位置づけの授業科目です。時期に応じて次のこと等を実施します。 ・就職活動 ・各種検定試験対策 ・各種コンペ対策 ・学生生活指導		
到達目標	各種検定の取得や、就職活動を有利に進められるよう様々な知識を身につけます。		
授業の方法	学生の進度に合わせた就職活動対策を行います。個別にその時期にやるべき就活対策を行い、内定獲得に向けて企業研究等を行います。時期によっては生活指導的面談を行い、学生生活の充実を図ります。		
評価方法	主に就職活動の経過や、学生生活全般において意欲的に学校行事に参加しているかなど、生活態度や提出課題の内容で評価します。		
授業時間外に必要な学修	日頃から就活サイトのチェックや志望業界、企業の研究をするとよい。		
使用教材教具	ノートパソコン		
留意点	この科目だけでなく一般常識と併せて、就職活動に活かして下さい。		

授業計画	
1	希望調査 【 並行して学園祭準備 】
2	就活の流れについて
3	志望業界の研究 ↓
4	志望業界の研究
5	志望業界の研究
6	志望業界の研究
7	会社説明会・面接試験について
8	会社説明会・面接試験について
9	会社説明会・面接試験について
10	入社試験準備(ポートフォリオ制作等)
11	入社試験準備(ポートフォリオ制作等)
12	入社試験準備(ポートフォリオ制作等)
13	入社試験準備(ポートフォリオ制作等)
14	入社試験準備(ポートフォリオ制作等)
15	入社試験準備(ポートフォリオ制作等)
16	

シラバス

科目名	Excel I	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	大島 加代子
対象学年	1年後期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	ビジネス業務では必須である「Microsoft Office Excel」の機能を理解してその操作を学習し、基本的なスキルを養います。		
到達目標	Excelの基本操作および簡単な関数の使用方法を身につけることを目標とします。		
授業の方法	テキストに沿って基本操作を学習。各ごとの練習問題とドリルで復習し、課題としてすべて提出。間違いはその都度訂正。完成図と同じになるまでやり直しをする。データ活用の重要性を理解し、より見やすい表やグラフの作成ができるようにする。		
評価方法	出席(15%)、授業態度(15%)、提出物(20%)、期末試験(50%)によって評価を行います		
授業時間外に必要な学修	特になし		
使用教材教具	FOM出版「Excel2016基礎」、「Excel2016ドリル」		
留意点	特になし		

授業計画	
1	第1章EXCELの基礎知識 第2章データの入力
2	第2章 データの入力
3	第3章 表の作成
4	練習問題
5	第4章 数式の利用
6	練習問題
7	第5章 シートの操作 練習問題
8	第6章 表の印刷 練習問題
9	第7章 グラフの作成 練習問題
10	第8章 データベース
11	第9章 便利な機能 総合問題
12	総合問題
13	総合問題
14	期末対策
15	期末テスト
16	

シラバス

科目名	色彩論Ⅱ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	柳澤 美樹
対象学年	1年後期	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	前期に実施する「色彩論Ⅰ」に引き続き、色彩についての基礎概念を理解を深めます。また「パーソナルカラー」の基礎理論と実践的な活用法を学習します。		
到達目標	色に関する本質の理解と実践的活用を学ぶとともに、「色彩検定3級」の取得を目標とします。また「パーソナルカラー」の基礎理論を学習し職場で活かせるスキルを身につけます。		
授業の方法	色彩検定3級内容「色彩論Ⅰ」(前期)は前期と同じ方法で行う。「パーソナルカラー」についてはパーソナルカラー4シーズン独自の色についての理解を深めるための配色実技、課題に多く取り組む。		
評価方法	授業への主体的姿勢、課題への取り組み、小テスト、定期試験、授業態度等を総合的に評価します。成績については、出席状況15%、授業態度 15%、定期試験30%、課題40%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	色彩に関する文献等、積極的に読み進める。前期と同様、日々の生活の中でのファッション、建築物、看板、パッケージ、アート作品等の他に人の眼、髪、肌の色を特に意識して見るようにすることが望ましい。		
使用教材教具	色彩技能パーソナルカラー検定公式テキスト モジュール1:初級/NPO法人 日本パーソナルカラー協会 パーソナルカラー配色カード96色 「色彩論Ⅰ」(前期)使用教材一式		
留意点			

授業計画	
1	定期試験見直し
2	ファッションとインテリアの色彩
3	AFT3級検定試験に向けて
4	AFT3級検定試験に向けて
5	パーソナルカラーの歴史・パーソナルカラーに関連した色彩調和論 フォーシーズン・イエローベース・ブルーベースについて
6	パーソナルカラー診断方法
7	各シーズンのまとめ
8	各シーズンのまとめ
9	配色実技演習
10	フォーシーズンカラーの応用
11	フォーシーズンカラーの応用
12	フォーシーズンカラーの応用
13	パーソナルカラー検定問題演習
14	パーソナルカラー検定問題演習
15	定期試験
16	

シラバス

科目名	ビジネスマナーⅡ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	野口 輝美
対象学年	1年後期	実務/一般	実務教員
形式			
学修内容	前期に実施する「ビジネスマナーⅠ」に引き続き、基本的なビジネスマナーに対する理解を深めるとともに、社会における振る舞いを念頭により実践的なスキルを身につけてもらいます。		
到達目標	「ビジネスマナーⅠ」で学んだビジネスマナーの基本をより深く理解し、「ビジネス能力検定3級」の取得を目標とします。また検定試験後は就職活動に向けて、書類の書き方や面接のポイントを学習します。		
授業の方法	検定用のテキストを元に問題集や模擬テストで理解を深めてもらいます。また、就職活動において、企業に提出する書類の作成指導、面接指導を取り入れます。		
評価方法	出席状況15%、授業態度15%、模擬テスト20%、期末テスト50%		
授業時間外に必要な学修	検定の範囲でもある「新聞からの情報収集」は、就職活動でも役立ちますので、毎日、少しずつでも読む習慣をつけて、併せてビジネス用語も学習してください。		
使用教材教具	日本能率協会マネジメントセンター 2022ビジネス能力ジョブパス3級公式テキスト&問題集		
留意点	本講義の性質上、遅刻や忘れ物、不適切な授業態度は減点します、		

授業計画	
1	検定対策①(新聞記事の読み方)
2	検定対策②(ビジネス用語)
3	検定対策③(ビジネス文書～社内文の種類と作成例～)
4	検定対策④(ビジネス文書～社外文の種類と作成例～)
5	検定対策⑤(模擬テストと解説)
6	検定対策⑥(模擬テストと解説)
7	検定対策⑦(模擬テストと解説)
8	就職対策①(封筒の宛名書き・返信はがき・ビジネスメール)
9	就職対策②(送付状作成～PC使用)
10	就職対策③(御礼状作成)
11	就職対策④(面接で気をつけること)
12	社会人として求められる8つの意識
13	社会人として求められるコミュニケーション能力
14	総括
15	後期期末試験
16	

シラバス

科目名	キャリアデザイン I	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	小林 一英
対象学年	1年後期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	この授業では、就職活動の筆記試験対策として一般常識を学びます。就職活動スキルを身につけて志望の企業(業界)の選考準備をします。		
到達目標	SPI試験の内容を理解します。		
授業の方法	SPI試験の答案練習をしつつ、就活に関する基礎知識を学び準備を進めます。		
評価方法	期末テストの点数で評価します。成績については、出席状況15%、授業態度 15%、課題75%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	新聞やニュースをチェックして、社会で何が起きているかに関心を持って下さい。		
使用教材教具	SPI3 引出問題完全攻略		
留意点	この科目だけでなく、コースミーティング、ビジネスマナーと併せて就活準備を進めて下さい。		

授業計画	
1	授業の導入と昨年度模試の解説。傾向と対策。
2	模試実施と解説
3	SPI対策と就活情報
4	SPI対策と就活情報
5	SPI対策と就活情報
6	SPI対策と就活情報
7	SPI対策と就活情報
8	SPI対策と就活情報
9	SPI対策と就活情報
10	SPI対策と就活情報
11	SPI対策と就活情報
12	SPI対策と就活情報
13	SPI対策と就活情報
14	総復習
15	期末テスト
16	

シラバス

科目名	絵画Ⅱ	必修/選択	必修
授業時数	120時間	担当教員	福島 万里子
対象学年	1年後期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	ペン、水彩絵の具、色鉛筆など、様々な画材を使用して制作していく中で、自分の表現を追求します。		
到達目標	自身の得意な表現のジャンルを見つけ、その個性を最大限に伸ばし、自己表現へと確立します。		
授業の方法	実技中心の課題を決められた時間内で制作して提出します。		
評価方法	提出された作品の内容と制作の経過を総合的に評価します。成績評価は、提出課題が70%、出席評価が15%、授業態度が15%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	日常的に、絵画作品やイラストレーションなどに目を向けるようにしましょう。		
使用教材教具	各自必要な絵画材料		
留意点			

授業計画	
1	オリエンテーションと自由制作のプラン立て
2	エスキス制作
3	エスキス制作
4	制作開始
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	仕上げ、提出
16	

シラバス

科目名	クラフトⅡ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	寺崎
対象学年	1年後期	実務/一般	一般教員
形式			
学修内容	さまざまな素材を使って加工法を学び、造形作品を制作します。		
到達目標	基本的な加工技術を身につけ、自分の作品の表現につなげていく。		
授業の方法	実技中心の課題を決められた時間内で制作して提出します。		
評価方法	提出された作品の内容と制作の経過を総合的に評価します。成績評価は、提出課題が70%、出席評価が15%、授業態度が15%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	日常の中で目にする造形物の構造に着目して鑑賞してみる。		
使用教材教具	さまざまな造形材料、工具		
留意点	前期の「クラフトⅠ」から継続の授業です。		

授業計画	
1	作品制作①
2	イメージスケッチ、素材の検討
3	制作開始
4	↓
5	↓
6	↓
7	↓
8	↓
9	作品制作②
10	イメージスケッチ、素材の検討
11	制作開始
12	↓
13	↓
14	↓
15	↓
16	

シラバス

科目名	造形基礎演習Ⅱ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	平田 耕一郎
対象学年	2年後期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	基本的な造形要素の理解を深め、描画材との接触を通じて描くことを体験しながら学んでいきます。絵画やイラストレーションでの配色や構図法などの実践的で幅広い表現技術を習得します。		
到達目標	クリエイターとして必要な基礎造形力と身につけ、豊かで独創的な表現力の獲得を目標とします。		
授業の方法	課題毎に参考となる作品を紹介し、課題の意図と目的を理解させた上で作品制作をします。		
評価方法	成績は、出席状況15%、授業態度 15%、課題75%で評価します。 課題については学習の意図を正しく理解して制作できているかを評価の基準とします。		
授業時間外に必要な学修	課題の参考となる作品の鑑賞及び研究。描画材の準備、使用法の研究等。		
使用教材教具	アクリルガッシュ、定規、コンパス、配色カード、クロッキーブック 他		
留意点	今年の冬もコロナの蔓延でリモートとなる可能性も否めない。いつでも対応できる態勢をとって進めて行く。2年後期という多忙な時期なので、ゆっくりと、楽しく進めて行きたい。		

授業計画	
1	平面構成④モチーフ構成
2	平面構成④モチーフ構成
3	平面構成④モチーフ構成
4	平面構成④モチーフ構成
5	平面構成⑤イメージ構成
6	平面構成⑤イメージ構成
7	平面構成⑤イメージ構成
8	平面構成⑤イメージ構成
9	点・線・パターンによる表現演習
10	点・線・パターンによる表現演習
11	点・線・パターンによる表現演習
12	点・線・パターンによる表現演習
13	立体表現演習
14	立体表現演習
15	立体表現演習
16	

シラバス

科目名	デッサンⅡ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	金原 寿浩
対象学年	1年後期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	石膏像、器物などの静物を中心としたモチーフを描画することを通じて、あらゆる造形活動の基本となる「ものを見る目(観察力)」を養います。		
到達目標	描写の基本的要素である構図・形態・調子・質感・空間などについて理解し、多様な造形表現に対応できる基礎的な描画力を身につけることを目標とします。		
授業の方法	目の前にあるものをしっかりと見て描く。見えないところを見る、考える。		
評価方法	作品の出来映えもさることながら、そこに至るまでに重ねた努力、探究心の度合いなど		
授業時間外に必要な学修	表現者として24時間常に自分の表現のクオリティを上げるために身のまわりの事、世の中の事を結びつけて生活する。		
使用教材教具	何でも利用する		
留意点	消費者としてではなく、表現者、提供者として考え生きる覚悟をかためるための2年間としてほしい。		

授業計画	
1	自画像クロッキー B3クロッキー帳 自画像のためのエスキース B3クロッキー帳
2	自画像 画用紙、鉛筆
3	自画像 画用紙、鉛筆
4	自画像 画用紙、鉛筆
5	自画像 画用紙、鉛筆 中間講評
6	自画像 画用紙、鉛筆
7	自画像 画用紙、鉛筆 講評
8	静物 木炭紙、木炭
9	静物 木炭紙、木炭
10	静物 木炭紙、木炭
11	静物 木炭紙、木炭 講評
12	静物 画用紙、鉛筆
13	静物 画用紙、鉛筆
14	静物 画用紙、鉛筆
15	静物 画用紙、鉛筆 講評
16	

シラバス

科目名	コースミーティングA	必修/選択	選択
授業時数	30時間	担当教員	寺崎
対象学年	1年前期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	LHR的な位置づけの授業科目です。時期に応じて次のこと等を実施します。 ・就職活動 ・各種検定試験対策 ・各種コンペ対策 ・学生生活指導		
到達目標	各種検定の取得や、就職活動を有利に進められるよう様々な知識を身につけます。		
授業の方法	学生の進度に合わせた就職活動対策を行います。個別にその時期にやるべき就活対策を行い、内定獲得に向けて企業研究等を行います。時期によっては生活指導的面談を行い、学生生活の充実を図ります。		
評価方法	主に就職活動の経過や、学生生活全般において意欲的に学校行事に参加しているかなど、生活態度や提出課題の内容で評価します。		
授業時間外に必要な学修	日頃から就活サイトのチェックや志望業界、企業の研究をするとよいです。		
使用教材教具	ノートパソコン		
留意点			

授業計画	
1	オリエンテーション
2	自己分析
3	自己分析
4	自己分析
5	職業研究
6	職業研究
7	企業研究
8	企業研究
9	自己PRについて
10	志望動機について
11	履歴書作成
12	履歴書作成(自己PR・志望動機)個人面談
13	履歴書作成(自己PR・志望動機)個人面談
14	履歴書作成(自己PR・志望動機)個人面談
15	履歴書作成(自己PR・志望動機)個人面談
16	

シラバス

科目名	Illustrator演習	必修/選択	必須
授業時数	60時間	担当教員	根本 剛
対象学年	1年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	Abode Illustrator を中心に基本操作の習得をします。また、学習震度に応じて作品制作をし、知識、技術の定着を図ります。また、サーティファイ検定に対応する内容となっていて、学期末の検体対策を兼ねます。		
到達目標	Abode Illustrator の基本操作の習得。サーティファイ検定の受験		
授業の方法	教科書を元に授業を振興する。学習進度に応じて制作課題に取り組む。		
評価方法	Abode Illustrator の基本操作の習得。作品評価		
授業時間外に必要な学修	サーティファイ illustrator検定対策		
使用教材教具	ノートPC、Illustratorクイックマスター		
留意点	なし		

授業計画	
1	PC MacBook などの扱いについて illustrator クイックマスター 第1章 chapter1
2	chapter2 chapter3
3	課題1 パスの練習
4	chapter4 chapter5
5	課題2 名刺デザイン
6	chapter6
7	課題2 イラストマップ制作①
8	課題2 イラストマップ制作②
9	illustrator クイックマスター 第2章 chapter1
10	chapter2
11	課題3 遠近グリッドの練習制作①
12	課題3 パスイラスト・キャラクターデザイン制作①
13	課題3 パスイラスト・キャラクターデザイン制作②
14	課題3 パスイラスト・キャラクターデザイン制作③
15	サーティファイ検定対策について まとめ
16	

シラバス

科目名	Word I	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	大島 加代子
対象学年	1年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	ビジネス業務では必須である「Microsoft Office Word」の機能を理解してその操作を学習し、基本的なスキルを養います。		
到達目標	基本的なビジネス文書の作成や編集まで、ビジネスのみならず、プライベートなどでも活用できることを目標とします。		
授業の方法	テキストに沿って基本操作を学習。章ごとの練習問題とドリル問題で復習を行い、課題としてすべて提出。間違いはその都度訂正。完成図と同じになるまでやり直しをする。ビジネスルールに則った正確な文書作成ができるようにする。		
評価方法	出席(15%)、授業態度(15%)、提出物(20%)、期末試験(50%)によって評価を行います		
授業時間外に必要な学修	特になし		
使用教材教具	FOM出版「Word2016基礎」、「Word2016ドリル」		
留意点	特になし		

授業計画	
1	授業内容の説明・諸注意など 自己紹介カードへの記入 ネットワーク使用方法の説明
2	第1章Wordの基礎知識 第2章 文字の入力
3	第2章 文字の入力 続き
4	第3章 文書の作成
5	第3章 文書の作成 練習問題
6	第4章 表の作成
7	第5章 文書の編集
8	練習問題
9	第6章 表現力をアップする機能
10	第7章 便利な機能
11	練習問題、総合問題
12	総合問題
13	総合問題
14	期末対策
15	期末テスト
16	

シラバス

科目名	色彩論 I	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	柳澤 美樹
対象学年	1年前期	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	色彩についての基礎概念を理解するとともに、色彩心理や配色カードを使用した配色法などの実践的な活用方法も習得します。		
到達目標	色に関する本質的な理解と目的にあった色を使用できる力の獲得し、アート表現、ビジュアルデザイン、CG制作などの専門分野で活用することを目標とします。		
授業の方法	テキストと毎回配布するプリントを使用しての講義となります。また、配色カードを使用しての配色実技演習を行います。又、各項目毎に小テストを行い理解度を確認します。		
評価方法	授業への主体的姿勢、課題への取り組み、小テスト、定期試験、授業態度等を総合的に評価します。成績については、出席状況15%、授業態度 15%、定期試験50%、課題20%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	色彩に関する文献等、積極的に読み進める。又、日々の生活の中でのファッション、建築物、看板、パッケージ、アート作品等の色を意識して見るようにすることが望ましい。		
使用教材教具	・文部科学省後援 色彩検定公式テキスト3級編/AFT企画 ・2022年版色彩検定3級本試験対策/学研プラス ・新配色カード199b/日本色研事業(株)		
留意点			

授業計画	
1	ガイダンス(授業の進め方・成績評価等) 色の働き
2	色の表示方法Ⅰ 表色系 特に色彩調和に適しているPCCSの三属性について
3	色の表示方法Ⅱ 表色系 PCCSについて、PCCSの特徴的な概念「ヒュートーンシステム」について
4	色の表示方法Ⅲ 表色系 PCCS 表記方法等
5	色の表示方法Ⅳ 表色系 PCCSまとめ
6	色彩心理Ⅰ 色が人間に与えるイメージや心理的效果・視覚効果について
7	色彩心理Ⅱ 色の錯視など知覚的效果について 配色イメージ
8	配色イメージ及び6講、7講、8講で学んだ心理的效果並びに配色イメージの実技演習
9	6講、7講、8講で学んだ心理的效果並びに配色イメージの実技演習
10	色彩調和 基本的な配色用語及び技法
11	光と色Ⅱ 光が見せる様々な現象、眼のしくみ
12	光と色Ⅰ「光」とは何か
13	光と色Ⅱ 光が見せる様々な現象、眼のしくみ
14	光と色Ⅲ 混色 新たな色を作る混色の理論、身近な混色の技術
15	定期試験
16	

シラバス

科目名	ビジネスマナー I	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	野口 輝美
対象学年	1年前期	実務/一般	実務教員
形式			
学修内容	社会人として必要とされる基本的なマナーを身につけます。また、人と関わる上で必要とされるコミュニケーションスキルについても習得します。		
到達目標	社会人として、必要なビジネスマナーの知識を習得すると共に、12月実施のビジネス能力検定ジョブパス3級の資格取得に結びつく学習をします。		
授業の方法	検定用のテキストに沿って、副教材も配布しながら進めていきます。また、單元ごとに小テストを実施して、理解度を確認していきます。		
評価方法	出席状況15%、授業態度15%、小テスト20%、期末テスト50%		
授業時間外に必要な学修	検定の範囲でもある「新聞からの情報収集」は、就職活動でも役立ちますので、毎日、少しずつでも読む習慣をつけて、併せてビジネス用語も学習してください。		
使用教材教具	日本能率協会マネジメントセンター 2022ビジネス能力ジョブパス3級公式テキスト&問題集		
留意点	本講義の性質上、遅刻や忘れ物、不適切な授業態度は減点します。		

授業計画	
1	授業ガイダンス(授業の進め方とルール・評価について・検定試験について・自己紹介シート作成)
2	ビジネスマナーの必要性・好印象を与える印象管理
3	仕事をするための基礎知識①(挨拶・身だしなみ・聞き方)
4	仕事をするための基礎知識②(就業中のマナー・仕事の進め方・自己啓発・健康管理)
5	ビジネスマナーの基本①(敬語の基本・間違いやすい敬語)
6	ビジネスマナーの基本②(好感の持てる話し方)
7	ビジネスマナーの基本③(来客対応・名刺交換・訪問のマナー)
8	ビジネスマナーの基本④(電話対応のかけ方の基本・ロールプレイング)
9	ビジネスマナーの基本⑤(電話対応受け方の基本・ロールプレイング)
10	ビジネスマナーの基本⑥(クレーム電話の対応・携帯電話のマナー)
11	社会人として必要なマナー①(結婚式のマナー)
12	社会人として必要なマナー②(葬儀のマナー)
13	社会人として必要なマナー②(贈り物のマナー・テーブルマナー・六曜)
14	総括
15	前期期末試験
16	

シラバス

科目名	デッサン I	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	金原 寿浩
対象学年	1年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	石膏像、器物などの静物を中心としたモチーフを描画することを通じて、あらゆる造形活動の基本となる「ものを見る目(観察力)」を養います。		
到達目標	描写の基本的要素である構図・形態・調子・質感・空間などについて理解し、多様な造形表現に対応できる基礎的な描画力を身につけることを目標とします。		
授業の方法	目の前にあるものをしっかりと見て描く。見えないところを見る、考える。		
評価方法	作品の出来映えもさることながら、そこに至るまでに重ねた努力、探究心の度合いなど		
授業時間外に必要な学修	表現者として24時間常に自分の表現のクオリティを上げるために身のまわりの事、世の中の事を結びつけて生活する。		
使用教材教具	何でも利用する		
留意点	消費者としてではなく、表現者、提供者として考え生きる覚悟をかためるための2年間としてほしい。		

授業計画	
1	デッサンについて、道具の説明。 鉛筆削り
2	小さなデッサン① B4スケッチブック、鉛筆
3	小さなデッサン② B4スケッチブック、鉛筆
4	小さなデッサン③ B4スケッチブック、鉛筆
5	小さなデッサン④ B4スケッチブック、鉛筆
6	小さなデッサン⑤ B4スケッチブック、鉛筆
7	静物 画用紙、鉛筆
8	静物 画用紙、鉛筆
9	静物 画用紙、鉛筆
10	静物 画用紙、鉛筆
11	クロッキー B3クロッキー帳、鉛筆
12	石膏 木炭紙、木炭
13	石膏 木炭紙、木炭
14	石膏 木炭紙、木炭
15	石膏 木炭紙、木炭 講評
16	

シラバス

科目名	絵画 I	必修/選択	必修
授業時数	120時間	担当教員	福島 万里子
対象学年	1年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	ペン、水彩絵の具、色鉛筆など、様々な画材を使用して制作していく中で、自分の表現を追求します。		
到達目標	自身の得意な表現のジャンルを見つけ、その個性を最大限に伸ばし、自己表現へと確立します。		
授業の方法	実技中心の課題を決められた時間内で制作して提出します。		
評価方法	提出された作品の内容と制作の経過を総合的に評価します。成績評価は、提出課題が70%、出席評価が15%、授業態度が15%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	日常的に、絵画作品やイラストレーションなどに目を向けるようにしましょう。		
使用教材教具	各自必要な絵画材料		
留意点			

授業計画	
1	オリエンテーションと、絵の具に慣れる為の制作
2	静物画
3	静物画
4	静物画
5	風景画
6	風景画
7	風景画
8	模写
9	模写
10	模写
11	自画像
12	自画像
13	自画像
14	抽象画
15	後期の自由創作の説明と、抽象画
16	

シラバス

科目名	クラフト I	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	寺崎
対象学年	1年前期	実務/一般	一般教員
形式			
学修内容	さまざまな素材を使って加工法を学び、造形作品を制作します。		
到達目標	基本的な加工技術を身につけ、自分の作品の表現につなげていく。		
授業の方法	実技中心の課題を決められた時間内で制作して提出します。		
評価方法	提出された作品の内容と制作の経過を総合的に評価します。成績評価は、提出課題が70%、出席評価が15%、授業態度が15%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	日常の中で目にする造形物の構造に着目して鑑賞してみる。		
使用教材教具	さまざまな造形材料、工具		
留意点			

授業計画	
1	オリエンテーション 作品制作①
2	イメージスケッチ、素材の検討
3	制作開始
4	↓
5	↓
6	作品制作②
7	イメージスケッチ、素材の検討
8	制作開始
9	↓
10	↓
11	作品制作③
12	イメージスケッチ、素材の検討
13	制作開始
14	↓
15	↓
16	

シラバス

科目名	造形基礎演習 I	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	平田 耕一郎
対象学年	1年前期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	基本的な造形要素の理解を深め、描画材との接触を通じて描くことを体験しながら学んでいきます。絵画やイラストレーションでの配色や構図法などの実践的で幅広い表現技術を習得します。		
到達目標	クリエイターとして必要な基礎造形力と身につけ、豊かで独創的な表現力の獲得を目標とします。		
授業の方法	課題毎に参考となる作品を紹介し、課題の意図と目的を理解させた上で作品制作をします。		
評価方法	成績は、出席状況15%、授業態度 15%、課題75%で評価します。 課題については学習の意図を正しく理解して制作できているかを評価の基準とします。		
授業時間外に必要な学修	課題の参考となる作品の鑑賞及び研究。描画材の準備、使用法の研究等。		
使用教材教具	アクリルガッシュ、定規、コンパス、配色カード、クロッキーブック 他		
留意点			

授業計画	
1	オリエンテーション 用具の使用法
2	色の3要素についてアクリル絵の具の混色演習
3	色の3要素についてアクリル絵の具の混色演習
4	色の3要素についてアクリル絵の具の混色演習
5	平面構成①混色展開構成
6	平面構成①混色展開構成
7	平面構成①混色展開構成
8	平面構成②直線による色面分割構成
9	平面構成②直線による色面分割構成
10	平面構成②直線による色面分割構成
11	平面構成②直線による色面分割構成
12	平面構成③幾何形体を用いての色面分割構成
13	平面構成③幾何形体を用いての色面分割構成
14	平面構成③幾何形体を用いての色面分割構成
15	平面構成③幾何形体を用いての色面分割構成
16	

シラバス

科目名	WordⅡ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	大島 加代子
対象学年	2年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	ビジネス業務では必須である「Microsoft Office Word」の機能を理解してその操作を学習し、実際の業務を念頭にその機能を利用できるスキルを養います。		
到達目標	基本的なビジネス文書の作成から表現力豊かな文書の編集まで、ビジネスのみならず、プライベートなどでも活用できることを目標とします。		
授業の方法	ビジネス文書や電子メールの基本を学び、表や図形などを取り入れた実践的なビジネス文書を作成。模擬試験ではルールに則ったビジネス文書を迅速に作成できるようにする。知識問題では、コンピュータと文書作成の基礎知識を学ぶ。		
評価方法	出席(15%)、授業態度(15%)、提出物(20%)、期末試験(50%)によって評価を行います。検定試験を受験し、合格した者については加点をします。		
授業時間外に必要な学修	特になし。		
使用教材教具	FOM出版「日商PC検定試験 文書作成3級 公式テキスト&問題集」「日商PC検定 文書作成・データ活用・プレゼン資料作成3級 知識科目 公式問題集」		
留意点	特になし。		

授業計画	
1	検定試験の概要 試験内容と対策 第1章 ビジネス文書 知識問題(毎回少しずつ進める)
2	第1章 ビジネス文書
3	第2章 ビジネス文書のライティング技術
4	第2章 ビジネス文書のライティング技術
5	第3章 電子メールのライティング技術
6	第4章 ビジネス図解の基本
7	第5章 ビジネス文書の管理
8	第6章 基本的なビジネス文書の作成
9	第7章 表のあるビジネス文書の作成
10	第8章 図形のあるビジネス文書の作成
11	模擬試験1
12	模擬試験2
13	模擬試験3
14	期末対策
15	期末テスト
16	

シラバス

科目名	コースミーティングC	必修/選択	選択
授業時数	30時間	担当教員	寺崎
対象学年	2年前期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	LHR的な位置づけの授業科目です。時期に応じて次のこと等を実施します。 ・就職活動 ・各種検定試験対策 ・各種コンペ対策 ・学生生活指導		
到達目標	各種検定の取得や、就職活動を有利に進められるよう様々な知識を身につけます。		
授業の方法	学生の進度に合わせた就職活動対策を行います。個別にその時期にやるべき就活対策を行い、内定獲得に向けて企業研究等を行います。時期によっては生活指導的面談を行い、学生生活の充実を図ります。		
評価方法	主に就職活動の経過や、学生生活全般において意欲的に学校行事に参加しているかなど、生活態度や提出課題の内容で評価します。		
授業時間外に必要な学修	日頃から就活サイトのチェックや志望業界、企業の研究をするとよいです。また、卒業後の自分の進路について、具体的なイメージや希望を持つように心がけて下さい。		
使用教材教具	ノートパソコン		
留意点			

授業計画	
1	オリエンテーション/進路希望調査①
2	志望動機について
3	履歴書作成
4	企業研究/就職試験対策
5	企業研究/就職試験対策
6	企業研究/就職試験対策
7	企業研究/就職試験対策
8	企業研究/就職試験対策
9	企業研究/就職試験対策
10	企業研究/就職試験対策/進路希望調査②
11	企業研究/就職試験対策
12	企業研究/就職試験対策
13	企業研究/就職試験対策
14	企業研究/就職試験対策
15	企業研究/就職試験対策
16	

必要な時に個人面談



シラバス

科目名	デッサンⅢ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	金原 寿浩
対象学年	2年後期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	石膏像、器物などの静物を中心としたモチーフを描画することを通じて、あらゆる造形活動の基本となる「ものを見る目（観察力）」を養います。		
到達目標	1年次に学習した描画の基本的要素についてさらに理解を深め、形態や質感を的確に表現する高い描画力を身につけることを目標とします。		
授業の方法	目の前にあるものをしっかりと観て描く。見えないところを見る、考える。		
評価方法	作品の出来映えもさることながら、そこに至るまでに重ねた努力、探究心の度合いなど		
授業時間外に必要な学修	表現者として24時間常に自分の表現クオリティを上げるために身のまわりの事、世の中の事を結びつけて生活する。		
使用教材教具	何でも利用する		
留意点	デッサンする事(作品を創る事)で培われた、見方、考え方、描写(対処)で卒業後の仕事、対人、自己決定などあらゆる場面で応用して力強く生きてほしい。		

授業計画	
1	手 スケッチブック、鉛筆
2	手 スケッチブック、鉛筆
3	静物 スケッチブック、鉛筆
4	静物 スケッチブック、鉛筆
5	静物 スケッチブック、鉛筆
6	静物 スケッチブック、鉛筆 講評会
7	人物クロッキー B3クロッキー帳、鉛筆
8	自画像クロッキー 自画像エスキース
9	自画像 画用紙、鉛筆
10	自画像 画用紙、鉛筆
11	自画像 画用紙、鉛筆
12	自画像 画用紙、鉛筆
13	自画像 画用紙、鉛筆
14	自画像 画用紙、鉛筆
15	自画像 画用紙、鉛筆 講評会
16	

シラバス

科目名	造形基礎 I	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	平田 耕一郎
対象学年	1年前期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	産学連携を図り対外的な交流や制作を通じ、絵画やイラストレーション、クラフトでの配色や構図法などの実践的で幅広い表現技術を習得します。		
到達目標	クリエイターとして必要な基礎造形力と身につけ、豊かで独創的な表現力の獲得を目標とします。		
授業の方法	課題の意図や目的、依頼者の要求を理解させた上で作品制作をします。		
評価方法	成績は、出席状況15%、授業態度 15%、課題75%で評価します。 課題については学習の意図を正しく理解して制作できているかを評価の基準とします。		
授業時間外に必要な学修	課題の参考となる作品の鑑賞及び研究。描画材の準備、使用法の研究等。		
使用教材教具	アクリルガッシュ、定規、コンパス、配色カード、クロッキーブック 他		
留意点			

授業計画	
1	テクスチャ表現・研究
2	テクスチャ表現・研究
3	産学連携企画作品制作①
4	産学連携企画作品制作①
5	産学連携企画作品制作①
6	産学連携企画作品制作①
7	産学連携企画作品制作①
8	産学連携企画作品制作②
9	産学連携企画作品制作②
10	産学連携企画作品制作②
11	産学連携企画作品制作②
12	産学連携企画作品制作②
13	産学連携企画作品制作③
14	産学連携企画作品制作③
15	産学連携企画作品制作③
16	

シラバス

科目名	コンペ対策Ⅰ	必修/選択	必修
授業時数	120時間	担当教員	寺崎
対象学年	2年前期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	様々なコンペへの応募を目的とした作品の制作を行います。		
到達目標	応募したコンペでの入賞を目指し、さらには個人の表現の追求へとつなげることが目標です。		
授業の方法	各自応募したいコンペを決め、制作プランについて教員と話し合いながら進めます。		
評価方法	応募するコンペの制作意図などを理解しているか、また応募結果などの実績も含めての課題評価70%、出席状況15%、授業態度15%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	様々な場面で目にする、美術表現全般に対して興味を持ってほしいです。		
使用教材教具	それぞれのコンペに応じた画材等を使用します。		
留意点	後期の「コンペ対策Ⅱ」へ続きます。		

授業計画	
1	オリエンテーション
2	コンペ情報調べと作品制作
3	コンペ情報調べと作品制作
4	コンペ情報調べと作品制作
5	コンペ情報調べと作品制作
6	コンペ情報調べと作品制作
7	コンペ情報調べと作品制作
8	コンペ情報調べと作品制作
9	コンペ情報調べと作品制作
10	コンペ情報調べと作品制作
11	コンペ情報調べと作品制作
12	コンペ情報調べと作品制作
13	コンペ情報調べと作品制作
14	コンペ情報調べと作品制作
15	コンペ情報調べと作品制作
16	

シラバス

科目名	イラストレーションⅠ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	丸橋 都
対象学年	2年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	イラストレーションの意味と役割を学び、さまざまな画材や技術を体験しながら多様なイラストレーション表現を学習する。		
到達目標	印刷物から電子媒体まで多種多様なメディアに対応できる幅広いイラストレーションの表現力と技術を身に付けることを目指します。		
授業の方法	毎回スピードデッサンから始めて描写力・集中力を高め、魅力的な人物の顔・体・ポーズの基礎や画材の使い方、構図、カラーバランス等をイラストレーションの課題制作過程で指導していきたい。		
評価方法	1年次に造形基礎演習で担当し、生徒の技術力は把握している。素直で真面目な生徒ばかりなので、厚い指導も期待できる。課題は速やかな採点・返却を行い、制作のアドバイスを細やかに指導、採点は緩やかとなるように心掛ける。		
授業時間外に必要な学修	課題重視なので、授業時間内にできない場合は自宅制作とする。またイラストやデザイン、フォントには流行や世事が反映する為、多くのメディアから情報収集して良い作品と出会い、技術や創作意欲を高めるよう指導する。		
使用教材教具	筆記用具・紙・画材・課題プリント・PC等		
留意点	今年もコロナの蔓延でリモートとなる可能性も否めない。いつでも対応できる態勢をとって進めて行く。2年という多忙な時期なので、ゆっくりと、楽しく進めて行きたい。		

授業計画	
1	挨拶/前期授業の説明/導入課題(スピードデッサン・アニメ模写等) 色鉛筆ポートレート制作①レジュメ配布 ※人物オブジェ決定、色鉛筆、ケント紙の用意
2	導入課題 色鉛筆ポートレート制作②彩色 ※混色・個性・陰影の指導
3	導入課題 色鉛筆ポートレート制作③彩色
4	導入課題 色鉛筆ポートレート制作④彩色
5	導入課題 色鉛筆ポートレート制作⑤彩色
6	導入課題 色鉛筆ポートレート制作⑥彩色
7	導入課題 日本の文様プリント 和文様を使った切り絵制作①(コンセプト・世界観の整合・ラフスケッチ)
8	導入課題 日本の文様プリント 和文様を使った切り絵制作②(コンセプト・世界観の整合・ラフスケッチ)
9	導入課題 日本の文様プリント 和文様を使った切り絵制作③(下絵)
10	導入課題 日本の文様プリント 和文様を使った切り絵制作④(切り出し)
11	導入課題 日本の文様プリント 和文様を使った切り絵制作⑤(切り出し)
12	導入課題 日本の文様プリント 和文様を使った切り絵制作⑥(切り出し)
13	導入課題 4コマ漫画 わいわい幼稚園①(2頭身キャラ)
14	導入課題 4コマ漫画 わいわい幼稚園②(2頭身キャラ)
15	導入課題 4コマ漫画 わいわい幼稚園③(2頭身キャラ)
16	

シラバス

科目名	CG実習 I	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	信田 康児
対象学年	2年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	CLIP STUDIOPAINTを中心に様々なCGソフトを用いたグラフィックオペレーションの学習		
到達目標	様々なグラフィックソフトを用いて、静止画作品や映像作品を完成させる。		
授業の方法	主にMac室のiMacを利用。		
評価方法	各種ソフトのオペレーション操作が身についているかどうか。 指定されたコンテンツの中で、個性やアイデアを活かせるだけの技術を身につけているかどうか。 成績については、出席状況15%、授業態度 15%、課題75%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	授業時間内で課題が完成しない場合、放課後等を利用して制作を行う。		
使用教材教具	ノートPC、教科書、ペンタブレット(自分で購入したもの)		
留意点			

授業計画	
1	授業導入、ペンタブレット操作の基本
2	CLIPSTUDIOPAINT の基本操作、レイヤー、編集ツールの基本。
3	CLIPSTUDIOPAINT の基本操作、レイヤー、編集ツールの基本。
4	課題①トレースイラスト
5	課題①トレースイラスト
6	Adobe Illustratorの基本のおさらい 、課題②ロゴ制作
7	課題②ロゴ制作
8	課題③トレースイラストとロゴを利用した紙面レイアウト。
9	課題③トレースイラストとロゴを利用した紙面レイアウト。
10	課題③トレースイラストとロゴを利用した紙面レイアウト。
11	課題③トレースイラストとロゴを利用した紙面レイアウト。
12	課題④キャラクターデザイン
13	課題④キャラクターデザイン
14	課題④キャラクターデザイン
15	課題④キャラクターデザイン
16	

シラバス

科目名	デザイン史	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	朝日 泰博
対象学年	2年前期	実務/一般	一般教員
形式	講義		
学修内容	19世紀中頃から20世紀までの近代デザイン史の動向を概観していきます。単なるデザイナーやその作品の理解にとどまらずその時代背景を理解しながらデザインの意味を考えます。また、同時代の美術全般についても検証していきます。		
到達目標	デザイン及び美術の歴史を単なる知識としてではなく、制作者、表現者としての観点で思考しながら理解を深めていくことを目的としています。		
授業の方法	プロジェクションで作品や画像資料を鑑賞しながら、その背景にある歴史や意味について解説していきます。		
評価方法	成績については、出席状況15%、授業態度 15%、試験75%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	授業で紹介されたデザイナー、画家たちについて自分なりに研究をし、理解を深める		
使用教材教具	美術出版社「カラー版 世界デザイン史」		
留意点			

授業計画	
1	デザイン史概説 ・デザインとは ・近代デザインの兆し
2	ヨーロッパ 19世紀後半～ ・近代デザインの鼓動 ・ウィリアム・モリスとアーツアンドクラフツ運動
3	アール・ヌーヴォー ・グラスゴー派の波紋 ・アール・ヌーヴォーの世界 ・ポスターの世紀
4	・ユーゲントシュティール ・分離派とウィーン工房 ・モデルニスモ
5	近代美術文 ・印象主義 ・後期印象主義 ・キュビズム
6	・ドイツ工作連盟 ・バウハウス 前編 ・学校創立の経緯と理念
7	・バウハウス 後編 ・デザインの展開 ・学校の終焉
8	・アール・デコ ・デ・ステイル ・ロシア構成主義
9	アメリカのデザイン ・アメリカのインダストリアル・デザイン
10	日本のデザイン Part1 ・明治から戦前の印刷デザイン ・大戦後のデザイン
11	ヨーロッパの現代デザイン ・北欧 ・ドイツ ・イタリア ・ポストモダン ・アメリカの現代デザイン
12	20世紀の美術 ・ダダ／シュルレアリスム ・抽象表現主義 ・ネオ・ダダ／ポップアート
13	日本のデザイン Part2 ・60・70年代のデザイン ・現代のグラフィックデザイン ・イラストレーション
14	前期授業のまとめ 期末試験について
15	◆期末試験
16	

シラバス

科目名	ExcelⅡ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	大島 加代子
対象学年	2年後期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	ビジネス業務では必須である「Microsoft Office Excel」の機能を理解してその操作を学習し、実際の業務を念頭にその機能を利用できるスキルを養います。		
到達目標	Excelの基本操作に加え、数学や関数の知識を習得し、内容に沿った形で効率的で見栄えの良い表やグラフを作成できるようになってもらいます。		
授業の方法	取引のしくみや業務の流れを学習し、関数やピボットテーブル、データベースなど実践的なデータ活用をする。模擬試験ではより見やすい表とグラフを迅速に作成できるようにする。知識問題では、データ活用の基礎知識をしっかりと学習する。		
評価方法	出席(15%)、授業態度(15%)、提出物(20%)、期末試験(50%)によって評価を行います。検定試験を受験し、合格した者については加点をします。		
授業時間外に必要な学修	特になし。		
使用教材教具	FOM出版「日商PC検定試験 データ活用3級 公式テキスト&問題集」「日商PC検定 文書作成・データ活用・プレゼン資料作成3級 知識科目 公式問題集」		
留意点	特になし。		

授業計画	
1	第1章 取引の仕組みと業務の流れ 知識問題(毎回少しずつ進める)
2	第2章 業務に応じた計算・集計処理
3	第2章 業務に応じた計算・集計処理
4	第3章 業務データの管理
5	第4章 表の作成1
6	第4章 表の作成2
7	第5章 データの集計1
8	第5章 データの集計2
9	第6章 グラフの作成
10	第1回 模擬試験
11	第2回 模擬試験
12	第3回 模擬試験
13	練習問題
14	練習問題
15	期末テスト
16	

シラバス

科目名	コースミーティングD	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	寺崎
対象学年	2年後期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	LHR的な位置づけの授業科目です。時期に応じて次のこと等を実施します。 ・就職活動 ・各種検定試験対策 ・各種コンペ対策 ・学生生活指導		
到達目標	各種検定の取得や、就職活動を有利に進められるよう様々な知識を身につけます。		
授業の方法	学生の進度に合わせた就職活動対策を行います。個別にその時期にやるべき就活対策を行い、内定獲得に向けて企業研究等を行います。時期によっては生活指導的面談を行い、学生生活の充実を図ります。		
評価方法	主に就職活動の経過や、学生生活全般において意欲的に学校行事に参加しているかなど、生活態度や提出課題の内容で評価します。		
授業時間外に必要な学修	日頃から就活サイトのチェックや志望業界、企業の研究をするとよいです。また、卒業後の自分の進路について、具体的なイメージや希望を持つように心がけて下さい。		
使用教材教具	ノートパソコン		
留意点			

授業計画			
1	進路希望調査③	並行して学園祭準備	必要な時に個人面談/進路相談
2	企業研究/就職試験対策		
3	企業研究/就職試験対策	↓	
4	企業研究/就職試験対策		
5	企業研究/就職試験対策		
6	企業研究/就職試験対策		
7	企業研究/就職試験対策		
8	企業研究/就職試験対策		
9	企業研究/就職試験対策		
10	企業研究/就職試験対策		
11	企業研究/就職試験対策		
12	企業研究/就職試験対策/卒業に向けて		
13	企業研究/就職試験対策/卒業に向けて		
14	企業研究/就職試験対策/卒業に向けて		
15	企業研究/就職試験対策/卒業に向けて		
16			

シラバス

科目名	デッサンⅣ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	金原 寿浩
対象学年	2年後期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	石膏像、器物などの静物を中心としたモチーフを描画することを通じて、あらゆる造形活動の基本となる「ものを見る目（観察力）」を養います。		
到達目標	1年次に学習した描画の基本的要素についてさらに理解を深め、形態や質感を的確に表現する高い描画力を身につけることを目標とします。		
授業の方法	目の前にあるものをしっかりと見て描く。見えないところを見る、考える。		
評価方法	作品の出来映えもさることながら、そこに至るまでに重ねた努力、探究心の度合いなど		
授業時間外に必要な学修	表現者として24時間常に自分の表現のクオリティを上げるために身のまわりの事、世の中の事を結びつけて生活する。		
使用教材教具	何でも利用する		
留意点	デッサンする事（作品を創ること）で培われた、見方、考え方、描写（対処）で卒業後の仕事、対人、自己決定などあらゆる場面で応用して力強く生きてほしい。		

授業計画	
1	石膏像 木炭紙、木炭
2	石膏像 木炭紙、木炭
3	石膏像 木炭紙、木炭
4	石膏像 木炭紙、木炭
5	石膏像 木炭紙、木炭 講評会
6	静物 スケッチブック、鉛筆
7	静物 スケッチブック、鉛筆
8	静物 スケッチブック、鉛筆
9	静物 スケッチブック、鉛筆 講評会
10	静物 画用紙、鉛筆
11	静物 画用紙、鉛筆
12	静物 画用紙、鉛筆
13	静物 画用紙、鉛筆
14	静物 画用紙、鉛筆
15	静物 画用紙、鉛筆 講評会
16	

シラバス

科目名	造形基礎 I	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	平田 耕一郎
対象学年	1年前期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	産学連携を図り対外的な交流や制作を通じ、絵画やイラストレーション、クラフトでの配色や構図法などの実践的で幅広い表現技術を習得します。		
到達目標	クリエイターとして必要な基礎造形力と身につけ、豊かで独創的な表現力の獲得を目標とします。		
授業の方法	課題の意図や目的、依頼者の要求を理解させた上で作品制作をします。		
評価方法	成績は、出席状況15%、授業態度 15%、課題75%で評価します。 課題については学習の意図を正しく理解して制作できているかを評価の基準とします。		
授業時間外に必要な学修	課題の参考となる作品の鑑賞及び研究。描画材の準備、使用法の研究等。		
使用教材教具	アクリルガッシュ、定規、コンパス、配色カード、クロッキーブック 他		
留意点			

授業計画	
1	学園祭出展作品制作
2	学園祭出展作品制作
3	学園祭出展作品制作
4	産学連携企画作品制作④
5	産学連携企画作品制作④
6	産学連携企画作品制作④
7	産学連携企画作品制作④
8	産学連携企画作品制作④
9	卒業制作
10	卒業制作
11	卒業制作
12	卒業制作
13	卒業制作
14	卒業制作
15	卒業制作
16	

シラバス

科目名	コンペ対策Ⅱ	必修/選択	必修
授業時数	120時間	担当教員	寺崎
対象学年	2年後期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	様々なコンペへの応募を目的とした作品の制作を行います。		
到達目標	応募したコンペでの入賞を目指し、さらには個人の表現の追求へとつなげることが目標です。		
授業の方法	各自応募したいコンペを決め、制作プランについて教員と話し合いながら進めます。		
評価方法	応募するコンペの制作意図などを理解しているか、また応募結果などの実績も含めての課題評価70%、出席状況15%、授業態度15%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	様々な場面で目にする、美術表現全般に対して興味を持ってほしいです。		
使用教材教具	それぞれのコンペに応じた画材等を使用します。		
留意点	前期の「コンペ対策Ⅰ」から継続の授業です。		

授業計画	
1	オリエンテーション
2	コンペ情報調べと作品制作
3	コンペ情報調べと作品制作
4	コンペ情報調べと作品制作
5	コンペ情報調べと作品制作
6	コンペ情報調べと作品制作
7	コンペ情報調べと作品制作
8	コンペ情報調べと作品制作
9	コンペ情報調べと作品制作
10	コンペ情報調べと作品制作
11	コンペ情報調べと作品制作
12	コンペ情報調べと作品制作
13	コンペ情報調べと作品制作
14	コンペ情報調べと作品制作
15	コンペ情報調べと作品制作
16	

シラバス

科目名	イラストレーションⅡ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	丸橋 都
対象学年	2年後期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	イラストレーションの意味と役割を学び、さまざまな画材や技術を体験しながら多様なイラストレーション表現を学習する。		
到達目標	印刷物から電子媒体まで多種多様なメディアに対応できる幅広いイラストレーションの表現力と技術を身に付けることを目指します。		
授業の方法	後期もショート課題から始めて描写力・集中力を高め、本課題に入る。人物、背景画、パターンなどのイラストを様々な画材を使い、構図、カラー、バランス等を課題制作の過程で指導していきたい。		
評価方法	課題は速やかな採点・返却を行い、制作のアドバイスを細やかに指導、採点は緩やかとなるように心掛ける。		
授業時間外に必要な学修	課題重視なので、授業時間内にできない場合は自宅制作とする。またイラストやデザイン、フォントには流行や世事が反映する為、多くのメディアから情報収集して良い作品と出会い、技術や創作意欲を高めるよう指導する。		
使用教材教具	筆記用具・紙・画材・課題プリント・PC等		
留意点	コロナの蔓延でリモートとなる可能性も否めない。いつでも対応できる態勢をとって進めて行く。就活、卒展という多忙な時期なので、ゆっくりと、楽しく進めて行きたい。		

授業計画	
1	後期授業の説明/導入課題(スピードデッサン・アニメ模写) わいわい幼稚園④(2頭身キャラ)
2	導入課題 4コマ漫画 わいわい幼稚園⑤(2頭身キャラ)
3	導入課題 わいわい幼稚園⑥(2頭身キャラ)
4	『Four words story』 100の単語から4つの単語を選んでストーリーを展開 イラストレーション制作①(コンセプト・世界観の整合・ラフスケッチ)
5	導入課題 (プリント) 『Four words story』イラストレーション制作②(コンセプト・世界観の整合・ラフスケッチ)
6	導入課題 (プリント) 『Four words story』イラストレーション制作③下絵
7	導入課題 (プリント) 『Four words story』イラストレーション制作④彩色
8	導入課題 (プリント) 『Four words story』イラストレーション制作⑤彩色
9	導入課題 (プリント) 『Four words story』イラストレーション制作⑥彩色
10	導入課題 『少数色イラストレーション』①ラフ
11	導入課題 『少数色イラストレーション』②ラフ、下絵
12	導入課題 『少数色イラストレーション』③ 彩色
13	導入課題 『少数色イラストレーション』④ 彩色
14	導入課題 『少数色イラストレーション』⑤ 彩色
15	導入課題 『少数色イラストレーション』⑥ 彩色
16	

シラバス

科目名	キャリアデザインⅡ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	小林 一英
対象学年	2年後期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	この授業では、お金の基礎知識を学び社会の仕組みを理解します。		
到達目標	社会に出る準備の第一歩として、社会理解と自己理解が進みます。		
授業の方法	基礎知識を学習した後、シュミレーションなどを通じて理解を深めます。また業界研究を進め労働法についても学びます。		
評価方法	業界研究発表の評価と普段の授業態度等を総合的に評価します。特に授業態度では「自分の人生とどう向き合う」姿勢を重要視します。成績については、出席状況15%、授業態度 15%、課題75%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	新聞、業界紙、関係省庁資料など、様々な情報を意識して集めて下さい。		
使用教材教具	特になし		
留意点	入社後の自分や、仕事以外の家庭や人生などを想像しながら学習を進めて下さい。		

授業計画	
1	ライフプラン 1 生命保険や損害保険について仕組みを学び、比較検討のシュミレーションをします。
2	ライフプラン 2 結婚・出産・教育・介護など家庭でかかる様々なコストや助成金について学びます。
3	ライフプラン 3 株式や投資信託など投資に関する基礎知識を学び、シュミレーターで体験をします。
4	ライフプラン 4 所得税や控除について学び、年末調整など申告のシュミレーションをします。
5	ライフプラン 5 年金の基礎知識を学び、自分のライフプランを検討します。
6	ライフプラン 6 資本主義の基礎知識を学びます。
7	ライフプラン 7 様々なお金の基礎知識を学びます。
8	ライフプラン総復習
9	中間テスト
10	労働法と働き方について
11	副業・フリーランス研究 著作権
12	キャリアプラン研究
13	キャリアプラン研究
14	キャリアプラン研究
15	期末テスト キャリアプラン発表
16	

シラバス

科目名	CG実習Ⅱ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	信田 康児
対象学年	2年後期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	CLIP STUDIOPAINTを中心に様々なCGソフトを用いたグラフィックオペレーションの学習		
到達目標	様々なグラフィックソフトを用いて、静止画作品や映像作品を完成させる。 特にAfterEffectsを利用した映像編集技術の習得。		
授業の方法	Mac室のiMacと、各自のMacbookを組み合わせる。使う。		
評価方法	各種ソフトのオペレーション操作が身についているかどうか。 指定されたコンテンツの中で、個性やアイデアを活かせるだけの技術を身につけているかどうか。 成績については、出席状況15%、授業態度 15%、課題75%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	授業時間内で課題が完成しない場合、放課後等を利用して制作を行う。		
使用教材教具	ノートPC、スケッチブック等		
留意点			

授業計画	
1	導入、後期の目標確認、AfterEffectsの基本操作
2	AfterEffectsの基本操作
3	AfterEffectsの基本操作
4	簡易MV制作
5	Live2Dとの組み合わせ、音源のDL、編集について
6	簡易MV制作
7	簡易MV制作 完成
8	ショートMV実制作導入
9	ショートMV実制作
10	ショートMV実制作
11	ショートMV実制作
12	ショートMV実制作
13	ショートMV実制作
14	ショートMV実制作 完成
15	総括、作品講評会
16	